

参考

<https://zenn.dev/kumamoto/articles/51bf0893620f0c>

<https://linuxfan.info/locale-variables>

Timezone を変更

注意

tzdata をインストール時にインタラクティブにタイムゾーンを選択する画面になることがある。
dockerfile 等でサイレントでインストールしたいときは以下の環境変数を使う

```
DEBIAN_FRONTEND=noninteractive apt install -y tzdata
```

方法 1 /etc/localtime を書き換える

必要なもの

- tzdata
- または他からコピーした timezone のファイル (補足参照)

設定

```
cp /usr/share/zoneinfo/Asia/Tokyo /etc/localtime
```

補足

```
/etc/localtime
```

を書き換える方法は、tzdata は必須ではなくファイルがあれば良い。
alpine 等で tzdata がない場合は他 (ホスト PC とか) からファイルをコピーしてもよい。

方法 2 tzselect を使う

tzdata に含まれる tzselect コマンドを使ってユーザごとに timezone を変更する

必要なもの

- tzdata

設定

```
tzselect
```

を実行し、質問に答えると設定すべき環境変数が表示される。それを .bash_profile 等に記載する

```
TZ='Asia/Tokyo'; export TZ
```

とか。

方法 3 dpkg-reconfigure tzdata を使う

dpkg-reconfigure が使える debian 系で利用できる方法。

必要なもの

- tzdata

設定

```
dpkg-reconfigure tzdata
```

を実行し、質問に答えると `timezone` が変更される。

方法 4 timedatectl を使う

必要なもの

- systemd の環境

timezone の確認

```
timedatectl status
```

timezone の変更

```
timedatectl set-timezone Asia/Tokyo
```

このコマンドで

```
/etc/localtime
```

のリンク先が変更される。

設定可能な timezone の一覧

```
timedatectl list-timezones
```

locale を変更する

設定されている locale の確認

```
locale
```

設定可能な locale の確認

```
locale -a
```

設定可能な locale がない場合は以下の方法で locale を作成する

方法 1 localedef で locale を作成する

必要なもの

- /usr/share/i18n/charmaps ファイルがあること
- begian 系は locales を追加すると上記ディレクトリが作成される

設定

```
locale-gen ja_JP.UTF-8
```

または

```
localedef -f UTF-8 -i ja_JP ja_JP.UTF-8
```

で作成できる。locale-gen は localedef のラッパ。

方法 2 language-pack-ja を使う

debian 系で利用できる。docker では update-locale は効かない。

```
sudo apt -y install language-pack-ja  
sudo update-locale LANG=ja_JP.UTF8
```

方法 3 dpkg-reconfigure locales を使う

必要なもの

- locales

設定

debian 系で利用できる。

```
dpkg-reconfigure locales
```

方法 4 localectl を使う

必要なもの

- systemd の環境

ロケール確認

```
localectl status
```

利用可能なロケールの確認

```
localectl list-locales
```

ロケール設定

```
sudo localectl set-locales LANG=ja_JP.utf8
```